

桜 島

火山活動度レベル

6 月 12 日に火山活動度レベルを 2 (比較的静穏な噴火活動) から 3 (活発な火山活動) に引き上げました。

概 況

6 月 4 日に南岳東斜面標高約 800m の昭和火口付近から新たな噴火が始まり、その後も噴火を繰り返し、高さ 1000m の噴煙を上げる噴火が時々発生しています。

昭和火口からの噴火では、噴石の飛散範囲が従来と異なる場合がありますので注意してください。過去の事例から見ると小規模な噴火であっても、火砕流(火口縁から約 1 km 程度流下)が発生する可能性があります。また、風下側では降灰等に注意が必要です。降雨時には泥石流や土石流が発生することがありますので注意してください。

・噴煙・噴火活動の状況

6 月 4 日に、南岳東斜面標高約 800m の昭和火口付近から新たな噴火が発生し、噴煙を高さ 200m まで噴き上げました。その後噴煙を 7 日には 1000m、9 ~ 10 日には 1200 m、12 日には 1400m に上げるなど、噴火活動は活発となっています。(図 2、表 1・2、写真 1・2)

・地震・微動活動の状況

桜島では、3 月中旬から南岳直下の浅いところを震源とする火山性地震が増加し、5 月中旬頃からは継続時間 2 分未満の振幅の小さい火山性微動が増加しています。(図 2)

・地殻変動の状況

G P S 連続観測による地殻変動観測では、長期的に東西方向のわずかな伸びの傾向が続いていますが、今回の噴火に伴う変動は観測されていません。

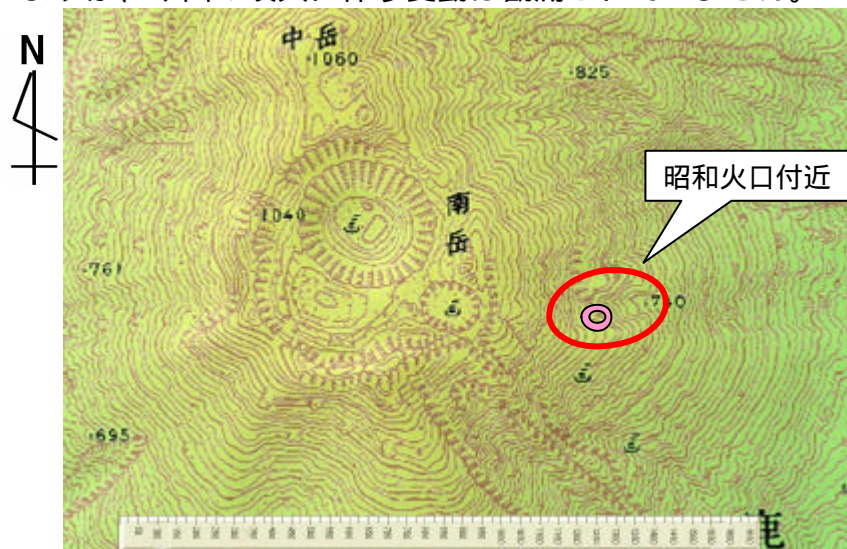


図 1 桜島昭和火口位置図

地図の作成にあたっては、国土地理院の承認を得て、同院発行の数値地図 50m メッシュ(標高)、25000 分の 1 の地形図を使用しています(承認番号:平 17 総使、第 503 号)

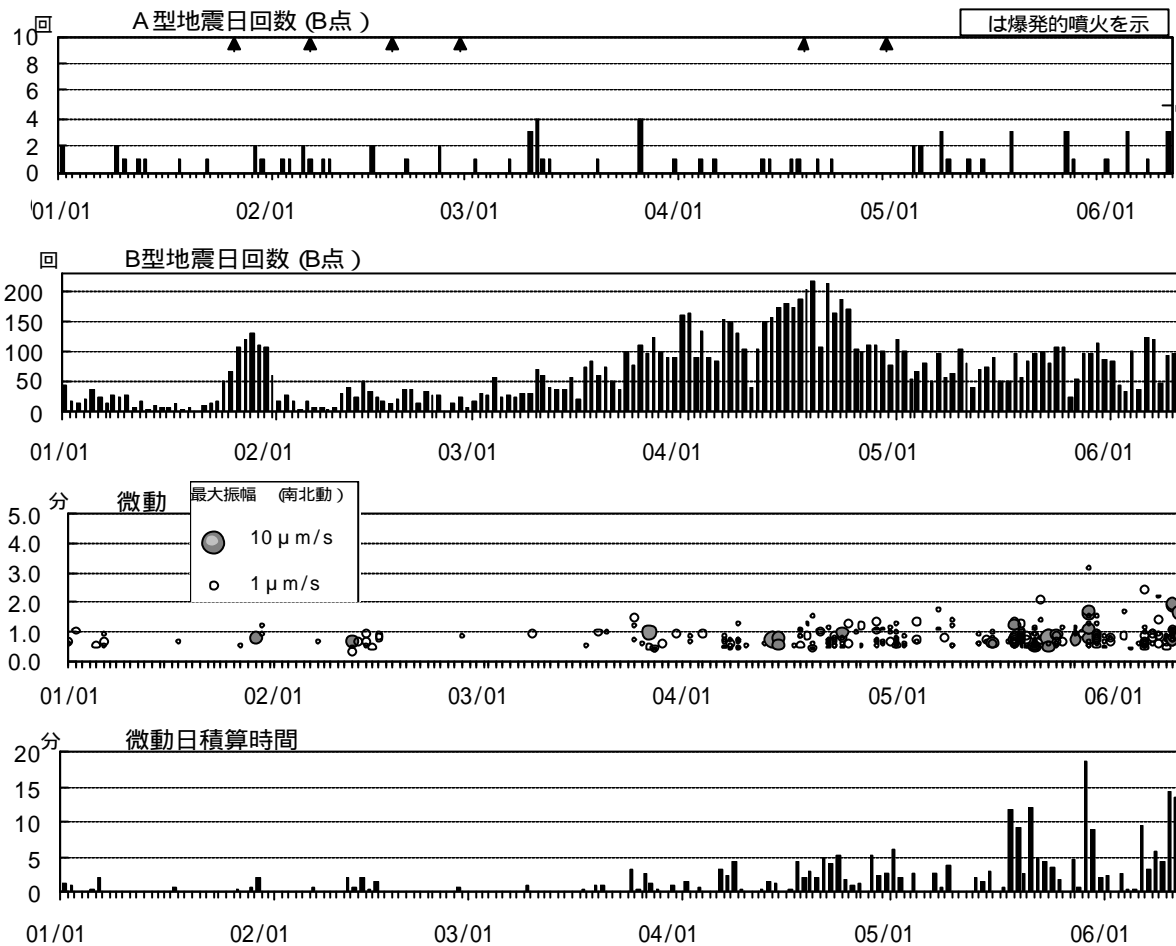


図2 最近の火山活動経過図(2006年1月1日～6月11日)

表1 桜島昭和火口付近の噴火(噴煙高1000m以上)の状況

(6月4日～6月12日16時現在)

月日	時間	色	高さ	備考
6月7日	17:30～17:40	灰白色	1000m	
6月9日	18:26～18:40	灰白色	1000m	
	19:45～20:00	灰白色	1200m	
6月10日	06:03～06:15	灰白色	1200m	
6月12日	10:34～10:40	灰白色	1100m	
	11:07～11:15	灰白色	1000m	
	11:20～11:30	灰白色	1400m	
	12:27～12:37	灰白色	1300m	
	13:40～13:50	灰白色	1100m	
	14:15～14:26	灰白色	1000m	
	15:30～15:42	灰白色	1100m	

表2 桜島南岳山頂火口付近の噴火(噴煙高1000m以上)の状況

(6月4日～6月12日16時現在)

月日	時間	色	高さ	備考
6月12日	12:46	灰白色	2000m	爆発的噴火



写真 1 昭和火口付近の噴火(2006 年 6 月 4 日黒神河原から撮影)



写真 2 昭和火口付近の噴火(2006 年 6 月 10 日黒神河原から撮影)
次第に火口を形成しつつある

レベル	火山の状態	噴火の形態	事例 (活動履歴)
5	<p>極めて大規模な噴火が発生 または可能性</p> <p>山麓での噴火、溶岩流出等大規模な噴火が発生。または上記のような噴火の発生する可能性を示す現象が見られる。</p>	<p>全島に噴出物等による影響の可能性があり、広域で厳重な警戒が必要。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 大正噴火(1914年) (山腹から溶岩を流出、火砕流も発生) ■ 昭和噴火(1946年) 等溶岩流出を伴うような噴火
4	<p>中～大規模噴火が発生 または可能性</p> <p>噴石の山麓近くへの落下や小規模火砕流等噴火活動が一層活発化していることを示す現象が発生。</p>	<p>山麓に噴石が降下する可能性がある。風下側では多量の降灰の可能性もある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1986年11月23日の噴火で、火口から3kmのホテルに5トンの噴石が落下等
3	<p>活発な火山活動</p> <p>小～中規模の爆発が繰り返され、活発な噴火活動が見られる。</p>	<p>山麓で火山礫等が降下する可能性がある。風下側では降灰の可能性もある。</p>	<p>通常レベル(比較的活発)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 2000年10月7日の噴火等、窓ガラスや屋根、車に被害
2	<p>比較的静穏な噴火活動</p> <p>小規模な噴火が時折発生するものの、火山性地震・微動の発生は少ない状態。</p>	<p>山麓に火山礫等が降下する可能性は低いが、風下側では降灰の可能性もある。</p>	<p>通常レベル(2～3ヶ月程度静穏な状態)</p>
1	<p>静穏な火山活動</p> <p>火山性地震・微動の発生はほとんどなく、火山灰の放出もない状態。</p>	<p>噴火可能性低い。</p>	<p>1950年～1955年のうちの静穏期</p>
0	<p>長期間火山の活動の兆候なし</p> <p>噴気等も見られず桜島火山活動が完全に終息した状態。</p>	<p>噴火可能性なし。</p>	<p>過去事例なし</p>